

## これまでの検討内容と主な論点について

1. 環境コンシェルジュ制度(仮)の目的と検証方針
2. 検討会・分科会での主な議論

## 1-1. 環境コンシェルジュ制度(仮)の目的と検証方針【第2回検討会資料】

- 増加傾向にある家庭部門からのCO<sub>2</sub>排出量を減少傾向に転じさせるために、多くの家庭に対して、効果的な家庭の省エネ対策の提案を行い、その削減対策を確実に実施していただくことを環境コンシェルジュ制度(仮)の目的とする。
- 家庭部門の低炭素社会を目指して、家庭のエネルギー診断や対策提案を一体化したワンストップサービスを確立する。

環境コンシェルジュ制度(仮)の目的

家庭部門からのCO<sub>2</sub>排出量の低減  
= (診断数の拡大) × (効果的な対策提案と実施率の向上)

多くの家庭に対する実施(診断数の拡大)

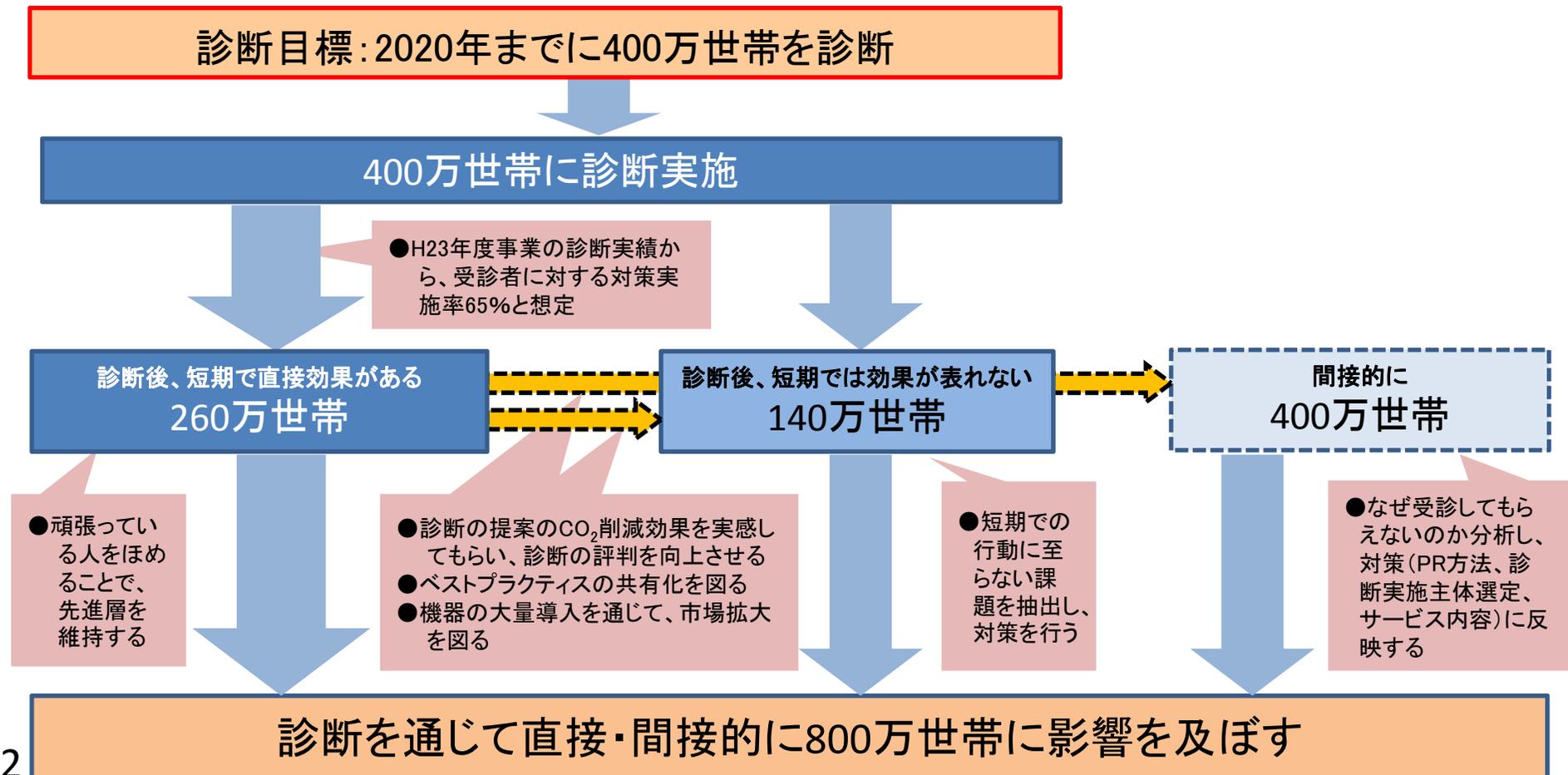
- より多くの家庭にうちエコ診断を実施するために、マーケティング手法を活用し、**受診者ターゲットを設定して展開**する(第一分科会で主に検討を行う)

効果的な対策提案と実施率の向上

- より効果的な提案を行うために、**うちエコ診断ソフトの対策の強化、ロジックの精緻化に向けた検証、原単位の見直し、最新技術の取り込み**等を検討する(主に第二分科会で検討を行う)
- 拡張サービスとして**商品紹介等のサービス拡大**の試行と検証を実施する(主に第一分科会で検討を行う)

## 1-2. 環境コンシェルジュ制度(仮)の目標【第3回第一分科会資料】

- 家庭エコ診断を通じた直接・間接的な効果により、800万世帯の環境機器導入に影響を及ぼすことを目指し、半数の400万世帯の診断を2020年までに実施することを診断数目標とする。
- 環境コンシェルジュ制度(仮)の目に見える成果のひとつとして、家庭のCO<sub>2</sub>大幅削減につながる環境機器の導入が挙げられる。
- 太陽光発電や次世代自動車等の環境機器が2020年あたりでイノベーター+アーリーアダプタ相当(約5,000万世帯の16%、800万世帯)が全数導入している程度に普及していることが望まれる。

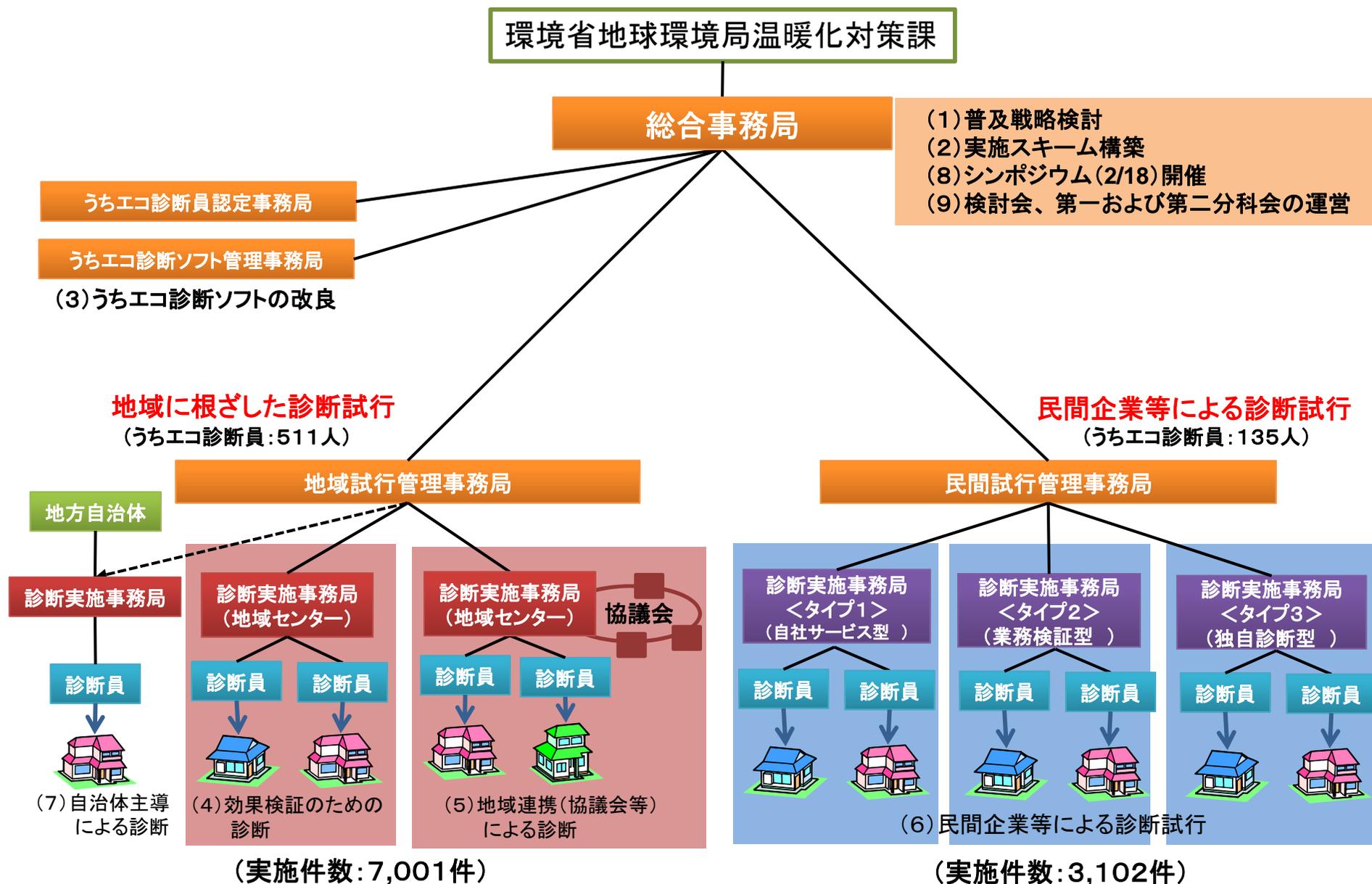


### 1-3. 環境コンシェルジュ制度(仮)開始に向けた各年度の計画【第2回検討会資料】

#### 環境コンシェルジュ制度(仮)開始に向けた年度計画(3カ年)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 以降
	家庭エコ診断推進基盤整備事業			環境コン シェルジュ 制度(仮) 開始
	全国展開に向けた課題の 抽出・対応	環境コンシェルジュ(仮)に向けた サービスの拡張と自立化の検証	プレ運用	
実施すべき 検証等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境コンシェルジュ(仮)のベースとなるうちエコ診断の全国展開に向けた診断方法の検証(特に寒冷地における検証)</li> <li>○全国の気候区分に応じた対策提案の実施率の検証</li> <li>○受診数拡大に向けた診断結果の属性分析(受診家庭属性、診断員属性による対策実施率の変化)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エコ診断と拡張サービス(診断後の商品紹介を含めた具体的な対策支援)の試行と検証</li> <li>○受診者の拡大に向けた方策の検証</li> <li>○うちエコ診断の実施率の向上に向けた方策の検討と検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エコ診断と拡張サービスの切り分けの明確化</li> <li>○環境コンシェルジュ制度(仮)の創設に向けた実施スキームの検討</li> </ul>	
準備するべき 環境等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エコ診断事業の運用にあたっての必要案手順</li> <li>○環境コンシェルジュ(仮)の基礎となるうちエコ診断の診断員の要件整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○拡張サービスの方法の具体化</li> <li>○うちエコ診断員の要件を踏まえた環境コンシェルジュ(仮)としての要件の整理</li> <li>○環境コンシェルジュ(仮)要件を満たすための試験制度検討と試行準備</li> <li>○診断の運用を支援するWebシステムの試行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○試験制度の試行実施</li> <li>○Webシステムで管理する診断結果のデータベース化と活用方法の検討</li> </ul>	

# 1-4. 平成24年度事業の全体枠組み



## 1-5. 環境コンシェルジュ制度検討分科会における主な検証内容と目的

- 環境コンシェルジュ制度検討分科会では、受診者拡大のための方法の検討と拡張サービスの試行を行い、制度構築に向けた検討を行う。

### 環境コンシェルジュ制度(仮)の目的

受診者数の拡大 × 対策効果(実施率の最大化)

- 受診者拡大のための方法の検討
  - ・ スキーム別の受診者拡大のための手法検討
- 環境コンシェルジュ制度(仮)構築に向けた検討
  - ・ 自立的運用に向けた要件整理
  - ・ 事業リスク低減に向けたガイドラインの検討
  - ・ うちエコ診断と独自診断を対象とした環境コンシェルジュの範囲の検討

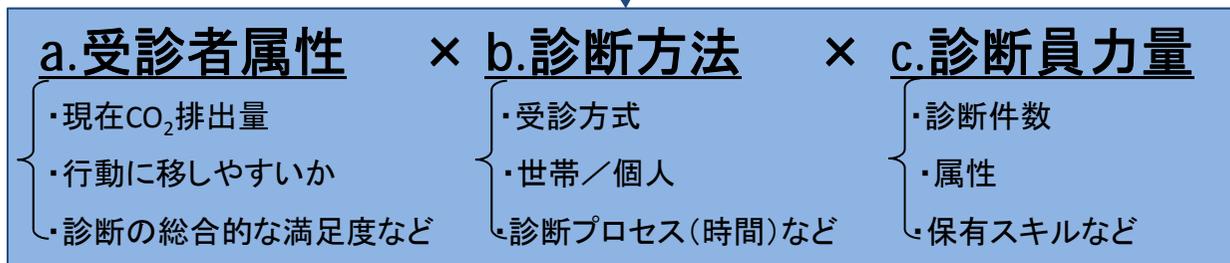
受診者人数を拡大するための制度の展開方針や、制度構築に向けた拡張サービス実施の改善につなげる。

## 1-6. うちエコ診断効果検証・評価分科会における主な検証内容と目的

○ 第二分科会では、対策効果を分析し、実施効率の最大化を図るために分析項目間の関連を検証する。

環境コンシェルジュ制度(仮)の目的

受診者数の拡大 × 対策効果(実施率の最大化)



実施率の最大化に向けて、どの項目が「受診者の行動変容」に効いているか分析を行う。

対策効果を最大化させるように、受診者属性、診断方法、診断員力量についての改善につなげる。

## 2-1. 第2回検討会での主なご指摘内容一覧

項目	委員からの指摘	検討会における対応案
(1) 環境コンシェルジュ制度(仮)の範囲についての指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「うち」とは、家の建屋だけを範囲とするのか家庭を対象とするのか明確にすべきだ。</li> <li>② 制度全体において、人(診断員)とソフトのどちらに重点を置くのか整理すべきである。</li> </ul>	制度全体の制度に合わせて議論する(資料3)
(2) CO <sub>2</sub> 排出量の評価についての指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地球温暖化の分野を対象とした場合、CO<sub>2</sub>排出量の評価はどこまで行うのか範囲を明確にする必要がある。</li> <li>② ゴミ、普段の買い物といったライフスタイル全体からのCO<sub>2</sub>排出量を評価に加えることも検討してはいかがか。</li> <li>③ ゴミなどの間接的なCO<sub>2</sub>排出量の評価についてはカーボンフットプリントなどの既存の制度があるため、自宅に伺うことで評価する意味がある分野にしぼってはいかがか。</li> </ul>	第二分科会において、ソフトで使用する排出係数と合わせて整理を行った。(資料2-1、資料3)
(3) CO <sub>2</sub> 排出係数についての指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 政府全体として、どのCO<sub>2</sub>排出係数を使用して評価するのか整理していただきたい。</li> <li>② CO<sub>2</sub>排出係数については、電源構成の影響を受けず、受診家庭における行動がきちんと評価できる方法を検討すべきだ。</li> </ul>	
(4) ネーミングについての指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 制度のブランディングと合わせてネーミングの議論が必要である。</li> <li>② 環境全般を対象にしない場合は、「環境」を制度の名称に使用すべきではないのではないだろうか。</li> <li>③ 消費者からすると「コンシェルジュ」のイメージがわかりにくいのではないだろうか。</li> </ul>	制度の範囲と合致するネーミングについて再度検討した。(資料3)
(5) 制度の展開方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域コミュニティへの展開も検討されてはいかがか。</li> <li>② 今後の展開に向けて、受診者がどこで、どのタイミングで受診したかについても評価分析を行ってはいかがか。</li> <li>③ 受診世帯のニーズを常に意識すべきではないだろうか。</li> </ul>	制度の展開方針について整理を行った。(資料3)
(6) リスクへの対応について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 一般消費者から見て、意見を受け付ける場所を明示的に組織化すべきだ。</li> <li>② 問題が発生した際に、団体全体に対してではなく、環境コンシェルジュ個人の責任としてはどうか。</li> </ul>	リスクへの対応については、消費者が分かりやすいように制度の中に位置づけ、意見を受け付ける組織について整理した。(資料3)

## <参考1> 検討会、分科会における検討事項

検討会名		検討事項
家庭エコ診断推進基盤整備事業検討会		<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体統括</li> <li>○全体進捗管理</li> <li>○環境コンシェルジュ(仮)のコンセプトの検討および普及戦略の検討</li> <li>○分科会へのタスクアウト</li> <li>○分科会からのインプットの共有と調整</li> </ul>
分科会名		検討事項
第一分科会	環境コンシェルジュ制度 検討分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受診者拡大のための方法の検討               <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキーム別の受診者拡大のための手法検討</li> <li>・地域に根ざした診断実施スキームの検証</li> <li>・民間企業による診断実施スキームの検証(民間企業の採択)</li> </ul> </li> <li>○環境コンシェルジュ制度(仮)構築に向けた検討               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立的運用に向けた要件整理</li> <li>・スキーム別事業リスク低減に向けた方策の検討</li> <li>・うちエコ診断と独自診断を対象とした環境コンシェルジュ(仮)の範囲の検討</li> </ul> </li> </ul>
第二分科会	うちエコ診断効果検証・評価分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うちエコ診断効果検証・評価手法の検討               <ul style="list-style-type: none"> <li>・うちエコ診断の効果検証手法の検討、構築</li> <li>・実施スキームごとの診断結果の比較検証</li> <li>・うちエコ診断ソフトの改良に関する検討</li> <li>・うちエコ診断と独自診断との比較検証</li> <li>・ロジック検証の枠組みの検討</li> </ul> </li> <li>○資格試験制度に向けた検討および試行               <ul style="list-style-type: none"> <li>・診断員養成方法の検討</li> <li>・資格要件および実施方法の検討</li> </ul> </li> </ul>

## <参考2> 検討会、分科会における進め方

区分	平成24年度		
	第1回	第2回	第3回
家庭エコ診断推進基盤整備事業検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境コンシェルジュのコンセプトおよび普及戦略の検討</li> <li>・分科会での検討事項の共有</li> <li>・分科会設置、分科会座長、委員等の承認</li> <li>・各分科会のスケジュール、進め方等の承認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分科会から事業実施状況に関し、中間報告を受け、今年度事業全体の進捗状況について把握するとともに、情報の共有を図る。</li> <li>・各分科会ごとの今後の進め方、考え方の調整を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分科会報告を受け、今年度事業成果の検証・評価を行う。</li> <li>・平成24年度事業のとりまとめ</li> <li>・平成25年度事業に向けた課題の抽出と今後戦略の検討</li> </ul>
第一分科会 環境コンシェルジュ制度検討分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境コンシェルジュ制度構築に向けた制度検討の考え方、進め方の検討</li> <li>・自立的運用に向けた要件整理</li> <li>・民間企業等による診断試行実施の選考と採択</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキーム別の受診者拡大のため手法検討</li> <li>・スキーム別のリスク等課題のとりまとめ</li> <li>・うちエコ診断と独自診断との比較検証を考慮した環境コンシェルジュの範囲の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度検討結果のとりまとめ</li> <li>・地域に根ざした診断実施スキームのとりまとめ、評価</li> <li>・民間企業による診断実施スキームのとりまとめ、評価</li> <li>・スキーム別の事業リスク低減に向けたガイドライン等の策定</li> </ul>
第二分科会 うちエコ診断効果検証・評価分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うちエコ診断の各スキームごとの効果検証手法の検討、構築</li> <li>・資格試験制度に向けた資格要件および実施方法についての検討</li> <li>・うちエコ診断ソフト改良スキームの検討</li> <li>・うちエコ診断ソフトロジック検証の枠組みの検討</li> <li>・うちエコ診断と独自診断との比較検証方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診断実施状況の把握</li> <li>・効果検証の最終とりまとめ等にむけた考え方、進め方検討</li> <li>・研修実施結果の分析と資格試験制度の実施方法の決定</li> </ul> <p style="text-align: right;">【第2回】</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うちエコ診断ソフトロジック検証の中間報告</li> <li>・うちエコ診断ソフトと独自診断で用いられるツールとの比較検証</li> </ul> <p style="text-align: right;">【第3回】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うちエコ診断効果検証結果のとりまとめと実施率向上に向けた診断手法の改善策のとりまとめ</li> <li>・実施スキーム別うちエコ診断の効果検証結果のとりまとめ</li> <li>・平成25年度にむけた資格試験制度運用方針の決定</li> <li>・平成25年度診断実施に向けたうちエコ診断ソフト改良スキームの決定</li> <li>・うちエコ診断と独自診断との比較検証のまとめ</li> </ul> <p style="text-align: right;">【第4回】</p>

# <参考3> 事業全体のスケジュール

